

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 6

2013 No.705

## 3 はじめの言葉

### 4 国／地域／国民の間に潜む

**較差と公平、平等感の欠如****田原文夫**

国際的な様々な標準化問題にせよ、国内の国会議員定数問題にせよ、あるいは納税制度にせよ、関係するすべての国や国民に公平かつ平等をもたらしてくれるかどうかは難しい問題である。バブル崩壊後に日本が迫られた金融ビッグバンもそうであったが、これに応じれば、日本企業の海外移転がくい止められ、日本産業の空洞化現象に歯止めがかかると思われたが、そうはならなかった。特に、国内物価のひとつである人件費を押さえることで生産原価を減らすことができ、惹いては競争力アップになることも期待されたが、それも叶わなかった。議員の定数は正問題も、最高裁の違憲勧告が出されながらも、「かくさ」問題の決着はついていない。税率についても国の税込問題としての議論ばかりで、納税者の公平感、平等感に応えられる議論は遅々として進んでいない。国家間にせよ、地域間にせよ、個人間にせよ、コンセンサスをとることの情熱と意欲が欠如しているとしか言いようがない。

### 10 情報社会を考える その33

**情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか****編集部**

アベノミクス騒動のなかで、ほんの半年ほどで株価が高騰し、安倍政権による経済政策効果だと賞賛する雰囲気が充満しているようだが、果たしてどうか。

一国の為替レートは、今日のグローバル社会のなかで決定されるものであり、一国の首相交代／政権交替による経済政策で簡単に動くものではないだろう。むしろ4年に一度の周期で巡ってくると言われる経済景気循環など、複合的な要因によるものだと考えるべきである。アベノミクスなどという、マスコミは囃し言葉だけを先行させ、まだ正体も実態も分からない新政権施策を御輿にするようなバカ騒ぎをしているが、厳に慎むべきだろう。効果も評価も、これからである。

そんな中、東京市場はリーマンショックを凌ぐ1000円以上の下げ幅を記録した。一種の金銭麻痺状態でも言うのだろうか、市場の落胆反応は鈍かった。その直前に連続的な、その何倍もの上げ幅があったせいだろうか。

### 13 日本再生／世界競争力回復のカギ

**何故 M-BIM 構築が必要か その28****水田 浩**

シャレットは、コミュニティ活性化の打開策作成ツールである。コミュニティは古く

った標準を守り、新しい変化に抵抗する。共有のコミュニティのビジョンが薄れて行く。それをコミュニティの住民と設計チームとの協働で打開する方法がシャレットである。

「シャレット」という言葉の原義は、フランス語で荷馬車という意味で、それがコミュニティ活性化の打開策（合意形成）を住民を中心に、関係者が短期間に集中して作成する方法に使われるようになった。その第一段階で情報収集を行う。

## 19 連載 アーキテクチャ論 (26) アジャイル開発とアーキテクチャ(2)

山本修一郎

本稿では、前回に引き続き、アジャイル開発手法とアーキテクチャとの融合手法について解説する。最初からすべてを計画するのではなく、顧客と開発者との反復的な対話に基づいて、必要なソフトウェアを効率的に開発する方式がアジャイル開発手法である。

一方で、適切なアーキテクチャを考慮しておかないと、個別的に開発されるソフトウェア全体を最適に統合できない可能性もある。このため、アジャイル開発手法の中でアーキテクチャを考慮する方法が提案されている[1][2][3][4]。

前回、アーキテクチャ中心に基づく(Architecture-Centric)アジャイル開発手法[1]と、アジャイルアーキテクチャ手法(C3A) [2]について説明した。本稿では、責任駆動アーキテクチャ設計手法[3]について紹介する。

## 27 国家レベルのセキュリティ論とそれに呼応する対応策

aism

前号で、企業等組織レベルを越えたセキュリティリスクを考え直す対象としての新マイナンバー法案、インターネットによる選挙活動の動きについて触れた。今月は、現政権の打ち出している「日本版 NSC (国家安全保障会議)」設置の動きと、それに呼応したセキュリティ対策のあり方について触れてみたい。aism は、基本スタンスを企業組織レベルに置いたセキュリティ論および対策を指向してきた。それが我が国の固有の特性だと認識してきたからである。しかし昨今の状況は、大きく変化してきているように思える。アメリカはじめ諸国が、国家としてのセキュリティを前提にしているように、我が国も同様なアプローチが必要な状況になってきたようだ。日本版 NSC 論が出てきた背景に注目したい。

## 29 ものの造れる日本再生に向けて その21

### 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

### 第21回 新たな事例による検証 その1

1970年代のオイルショック後の1980年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズNo1=No1としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたりストラクテ

ヤリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

### 3 5 IT 新時代とパラダイム・シフト

#### 第 4 4 回 身売りに出された動画配信サイト Hulu

の革新性と意義について

根本忠明

急成長を続けてきた米動画配信サイト Hulu が、親会社から身売りに出される騒動が、米メディアの注目を集めている。この売却先と今後の経営の在り方が、今後の映画・テレビ業界に、大きく影響するからである。Hulu は 2011 年秋に日本進出し、多くのファンを獲得している。Hulu は 2008 年のサービス開始当初から、映画テレビ・ビジネスのウェブ時代における革新的なモデルとして注目を集めてきた。Hulu の革新性と意義、そして、これまでの顛末について、紹介することにした。

### 3 8 続インテリジェンスへのいざない 41

#### アベノミクス成長戦略の正体把握と個々人／企業の選択

今井 武

アベノミクスの三本の矢が注目されている。第一、第二の金融／財政政策は、担い手の苦勞と言うより、国民にツケがまわってくるかもしれないリスクを持つ。それが心配だ。それが杞憂であるかどうかは、第三の矢の「成長戦略の成果」にかかっている。単なる時の政権トップの掛け声に終わるか、国民が一致団結して、実りある将来を切り拓くか。国民ひとり一人も、その対応を迫られている。何故なら、失敗すれば、そのツケは国民の責めになるのだから。

### 4 1 一味違うウェブ検索

#### 第三十五話 統計数値に注意する ③官公庁統計に注意せよ

ぐうのうえぶへい

世界と日本の経済が大きく変わりつつあるなか、この実態を明らかにする統計の真価が問われている。残念ながら、日本の官公庁統計は劣化が進み、我が国の経済・社会の実態を反映しなくなっている。ウェブ検索においても、この点に留意して、官公庁統計を利用する必要がある。今回は、官公庁統計を利用する上での課題について説明することにした。

### 4 3 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまちヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証利用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛準備心得
第五章 aismの2012年度の事業計画	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2013年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなチーム
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバグハンティング
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)